

図書館通信

2025年9月号

船浦中学校 図書館 No.27

2学期もあっという間に3週目。毎週いろいろな行事に追われて、相変わらず忙しい船中生。本を読む時間を捻出するのも大変でしょう。。。だから朝読書の時間を最大限に利用してください。せっかく確保されたこの時間、ちゃんと使わないともったいない! 読書が好きではない人も、きっとお気に入りの本は見つかるはず。食わず嫌いく読まず嫌い?)はやめて、卒業するまでに1冊でもたくさん自分の1冊を見つけてほしいと思います。(新着図書やみんなのおすすめ本も参考にしてください)

おすすめの本

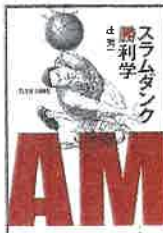
今月は宮里進先生おすすめの本です
『スラムダンク勝利学』(辻秀一) 780

採用試験の時、先生になってから、部活の指導の時もこの本の中の言葉が役に立ったそうです。

"必ず自分に返ってくる!"

"あきらめは最大の敵である!"

そして "『感謝すること』こそ勝利と一流への道" バスケットをする人もしない人も、みんなに読んでほしい1冊



タイムスリップ 歴史ニュース

1974年9月1日

原子力船むつの放射線漏れ事故

日本初の原子力船として建造された「むつ」は、1974年8月に原子炉の臨界実験に成功しますが、直後に放射線漏れ事故を起こします。安全のための改修工事や漁民の抗議による母港の変更、長い時間がかかり、実験航海を開始したのは1991年でした。航海終了後は原子炉を撤去し、海洋調査船「みらい」として生まれ変わり、現在も航行しています。



9月の読書目標

いろいろな分野の本を読む

本当はマンガ家になりたいかったけど、絵の才能がなく12歳で諦めました

初めて本が出版された時はうれしくて本を抱いて寝たんです

書きたいものを書いて物語ってこんなに面白いんだと思わせた



野球経験ゼロ!『バッテリー』は取材もしないで書きました

9月生まれのおさのあつこさん

岡山県生まれの作家。デビューは37歳と遅いが、現在(70歳)も岡山県内の温泉街で作品を生み出し続けている。代表作『バッテリー』は児童文学としては異例の1000万部ベストセラーとなった。SF〜時代物、長編〜短編まで多作で、本だけでなく漫画や映画評も書く。



14年ぶりにシリーズ刊行

うらハ⇒



学校司書さんたちに

夏休みに読んだおすすめの本を聞いてみました!



「アルプス席の母」
はやみかずま
(早見和真) 913オ

甲子園を目指す高校球児と親たちには、きっと色々なドラマがあるはず、大変なはず・・・



「沖縄苗字のヒミツ」
たけちみちひろ
(武智方寛) 281タ

沖縄の苗字についての内容が面白い。沖縄の歴史も知ることができて勉強になります



「放課後ひとり同盟」
(小嶋陽太郎) 913コ

3つの短編が重なり合ってどの目線からの話も面白い(特に最終話)時に深刻な悩みを抱えた主人公たちが個性的で、読後感もさわやか。読み終わってこの夏イチバン!と思えた1冊



「ドクロ」

(ジョン・クラッセン) 726ク
あの「みつけてん」の作者らしいシュールで不気味な物語です



「あおぞらビール」

(森沢明夫) 913モ
バカバカしくも楽しいエッセイ集。面白いので、思いっきり笑える場所で読もう



「三国志を歩く 中国を知る」
(坂本信博) 292サ

三国志ゆかりの史跡・名勝や国境地帯を歩いたルポルタージュ。今の中国を見つめる冒険の書



「沖縄のお天気」

(仲宗根朋美) 451ナ

知っているようで、知らなかった沖縄の天気を気象予報士が優しく解説してくれます



どの本も読みたくなりますね～
どの本も年齢・性別問わずオススメ

校長先生にも聞いてみました

「蜜蜂と遠雷」(恩多陸) 913オ
どこからかピアノの音色が聴こえてくるような・・・ピアノコンクールを舞台に、ライバルだけど、とても素敵な音楽家たちと音楽を描き切った感動の1冊

